

をはかれる器材を購入できないか④近隣市で食材・空間線量の高い数字が出た場合の対応は。

①現在購入予定はないが、状況の変化に対しては慎重に対応。②放射性物質の検査と給食食材の産地公表。各施設に掲示と市のHPで公表。③現時点で購入は考えていない。④一定の対応は必要と考える。

〔仮称〕ニトリ 粕江ショッピングセンターについて

①一定規模以上の土地取引があるとき、近隣住民や町会へ事前の情報提供をできないか②防火水槽は入れるのか③住宅地への車両侵入を防ぐために警視庁と協議や、要望を出していくべきと考えるがどうか。

①いつものような方法で情報を伝えられるかまちづくり条例を改正する際に検討。②規定どおり耐震性防火水槽1基を要望する予定。③現時点では情報不足、今後要望も検討することになると考える。

宮坂良子

高齢者福祉の充実、「磁気ループ」で聞こえのバリアフリーを

①聞こえにくくなるとコミュニケーションがとれず困難を抱える。聞こえについての把握は。②社会参加が広がるようクリアに聞こえる磁気ループ設置を。③高齢者大会などで疑似体験の実施を。

①5期介護保険事業計画のアンケートで、12・1%の方が耳の障がい理由に外

出を控えていると回答。②他市の状況も調査し検討していきたい。③実施のための内部調整を行う。

市民農園の堆肥化区画を広げ、さらなるごみの減量を

①一定の成果があると考える。②市民農園6園の合計で1333・2kg、9万6510円。③生ごみの堆肥化がさらに広がるよう支援策を検討していきたい。



市民の足「こまバス」さらに充実を

①「足が不自由なので便利」南部からも病院に行けるのでありがたいなど好評①乗車数の推移は②バス停の新設状況③増便についてのめどは④相互通行に向けての課題は⑤運行マップなど周知の工夫を。

①平成20年12・7人が平成23年1月速報値で18・9人②地権者の了承が得られていない③乗車状況を調査し、コアな時間帯を増便していきたい④南回りは幅員が狭い地域が多い⑤検討していきたい。

西村あつ子

特別支援教育の充実を

①モデル事業に決定されたが、保護者への対応。②なぜモデル事業に手を挙げたのか。③どのような形態か。④環境整備はどう整えるのか。⑤充実に向け東京都に意見を。⑥教育長の考えは。

①説明会の実施②全教員で体制が構築可能③通級校を拠点校に実施計画を検討④適切な場所に設置⑤低下しないよう意見を上げる⑥子供たちの自立と社会参加を目指す教育環境の一層の充実を図る。

粕江の野菜で魅力あるまちづくりを

①こま井の取り組み状況。②評判は。③販売日の拡大を。④今後の展開。⑤市民まつりでの販売は。⑥広い視野に立った展開をするべき。地元野菜を使い仕掛けづくりを。

①昨年の市民まつりで市役所食堂で販売開始②今までの販売日はすべて完売③食堂と調整する④こま井応援団のような組織を設置⑤条件がクリアできるか確認⑥市民力を活用しながら仕掛けを考えていく。

航空計器跡地へのマンション建設について(その8)

①調整会で協議された内容が確実に反映させるべき。②工事に当たり住民の不安を払拭す

る努力を。③公園用地と側道は近隣住民と議論し、進めるべき。

①協議内容は事業協定書に記載し守られる。②意見等があれば事業者に指導または配慮するよう要望する。③周辺住民にも配慮したつくりで、何らかの形で意見を生かせるよう考えていく。

小野寺克己

高齢者福祉について

①「うんどう教室」の課題、また今後の予定は。②認知症改善に日本一早く「足こぎ車いす」の導入を提案。認知症になった方に対して、通所介護ではどのような取り組みをしているのか。

①参加者がふえない。西河原公園・藤塚第四児童公園は月2回地域指導員が指導。岩戸川南公園は地域指導員を養成し、平成26年度から地域指導員が指導予定。②日常生活上の支援、機能回復訓練を行う。

庁内におけるITシステムの課題について

①情報は取り組み状況をオープンにし「ITの見える化」をすべきと提案。現状の課題と予定は。②自治体クラウドへ取り組む体制ができないのはなぜか。IT分野での災害対策は何を検討しているのか。

①コンビニ収納等の対応、マイナンバーや住基カードとの連携等の検討。②東京電子自治体共同運営協議会の中で

連携し、取り組みを進める。システムを免震構造の防災センターへ順次移行。

石川和広

図書館の充実と新図書館について

①電子書籍・デジタル図書に対する市の考え方は②経費削減と雑誌コーナー充実を図る「雑誌スポンサー制度」の導入は③新図書館建設スケジュールは当初の計画どおりか④新図書館で扱う情報とは何か

①著作権等の課題もあり調査・研究していく②先進事例を参考に動向も含め調査・研究③三中移転後の平成31年度に図書館移転の予定で考えている④情報を図書館に集中させ、情報発信の拠点としたい。



粕江市における「地域戦略」について

①地域戦略について市長の考えは②市としての地域戦略に位置づけるための手順・プロセスは③地域戦略のビジョンはどこに書かれているか④都市間競争の中、粕江市地域戦

略をどう位置づけていくのか。①公共施設再編方針で掲げている4点の推進。②予算編成方針や所信表明でも述べた。③公共施設再編方針で定式化をした。④自治体の個性の発揮が必要不可欠なものと考えている。

亀井和美

生命を守る震災対策、各施設等における避難訓練について

①小・中学校における抜き打ち避難訓練、本当はやっていないのではないかとあいつびあセンターの心身障がい者の避難における状況③福祉避難所マニュアルの策定状況④防災講演会で参考となった事項。

①再確認し、やっていない場合は指導していく②らせん階段等は危険なためソフト担架を購入③準備が整った段階で作成を検討④避難所運営における障がい者等への配慮、自助の強化、女性視点での検証。

視覚障がい者への支援について

①視覚障がい者用緊急情報無線FAXシステムの活用状況。②緊急情報無線FAXが貸与できない方に対する今後の支援と方向性。③聴覚障がいの高齢者に対する対応。

①ファクスの利用者は5名。②携帯メールの利用等を含め有効な方法を検討。③聴覚障がい者の集まる機会にチラシ配布やチラシの戸別配布等の方法。

佐々木貴史

市長の政治姿勢(子育て一番)について

①「子育て一番」の一番という意味は。②次世代育成支援行動計画を進めると市民の子育て一番の評価が上がるという科学的根拠は。③航空計器跡地に予定していた60人程度の認可保育所の代替措置は。

①目指す熱意・意欲をあらわす。②施策の中で総合的に頑張っていると評価してもらえよう取り組んでいる。③既存公立保育園での耐震改修工事による定員増及び民設誘致を行い受け入れ拡大を図る。

「声の市議会だより」をご利用ください

市議会では、主に視覚障がい者の方々に対象として、本紙の内容をCDやカセットテープに録音した「声の市議会だより」を市内朗読ボランティア団体(2団体)と社会福祉協議会のご協力のもとに発行しています。ご家族やご近所・お知り合いの方々で「声の市議会だより」をご希望の方がいらっしゃいましたら、議会事務局までご連絡ください。【問い合わせ先】議会事務局 議事庶務係(3430) 1111内線2341・2342